

インタビュー

淀川区への思い、区政会議への意気込み、聞かせてください!!

実際に区政会議に参加して、良かったこと、大変だったこと、今後の意気込み、そして「淀川区をこんなまちにしていきたい!」という思いを伺いました。皆さん素敵な笑顔ですね。

か えつ 嘉悦議長

区民が真に望む行政を

大量の資料を読み込み、理解するのは大変でしたが、部分的にしか分からなかった区政の全体像がつかめたように思います。区民が真に望んでいる行政がなされるようしっかりと提言して、よりよい淀川区のまちづくりに貢献したいと思っています。



田中委員

区政会議の成果を地域活動へ

区と全地域住民が一堂に会して意見交換する機会が他にないので、大変良い仕組みだと思います。区政会議で得たことを地域活動協議会に活かし、「つながり」や「きずな」を実感出来るまちに、そして、安心・安全なまちになるよう取り組んでいきたいです。



福島委員

親の視点を教育・子育て施策に

現在、中学2年生の男の子と小学6年生の女の子の母親であり、PTAや子ども会などにも携わっているため、教育・子育てについて興味があります。子育て世代にもシニア世代にも住みやすく、人にやさしく、安心して生活できるまちになれば良いな～、と思います。



さかき 榊区長

区民の声を聴き、前へ

予算は優先順位が必要です。何かを止めれば必ず反対が出ますが、必要なことは理解を求めつつ進めなければなりません。そのためには、区民の声を良く聴き、キチンと行政的手続きをふんでいくことが大事です。区政会議が更に機能するよう、不断の改善を行っていきます。



トピックス

貴重な意見が施策に反映されています!

ここでは、区政会議での意見から実際に区の運営方針・予算などに反映された事例をご紹介します。

事例1

コミュニティ回収の支援制度を延長

コミュニティ回収は、地球環境に対する意識の向上や地域の自主財源の確保などを目的とした取り組みです。地域の古紙・衣類回収を地域活動協議会が契約した業者が行い、地域はその売却益や市からの支援金を得ることができます。平成27年度は区独自の支援金を上乗せしています。

この支援金について「まだほとんどの地域が実施できていない。期間を延長できないか?」とのご意見をいただきました。これを受けて、地域の意向や取り組みの状況等もふまえ、平成28年度新たに取り組む地域を支援するための予算を要求しています。



事例2

子どもの体力づくり支援の拡充

子どもの体力づくり支援事業について「これまでの事業を継続しつつ、色々な意見を出し合い体力向上につながる取り組みを進めていくべき」とのご意見がありました。これに沿って、平成26年度より出前講座のメニューを増やすなど、多様な支援を行っています。

事例3

ひったくり防止カバーの改良

ひったくり被害対策として「ひったくり防止カバーに『パトロール中』や『警戒中』と書いてもらうか」とのご意見をいただき、今年度、早速取り入れました。平成28年度も引き続き取り組んでいきます。

